

仙台手をつなぐ文庫の会50周年記念講演会



講師 鈴木まもるさん



(画家・絵本作家・鳥の巣研究家)

テーマ 絵本と鳥の巣のふしぎ

— 鳥の巣が教えてくれること —



『鳥の巣の本』鈴木まもる 岩崎書店

参加費は
無料

日時 2024年1月21日(日) 13:00~15:30

会場 太白区中央市民センター3階大会議室

太白図書館のある建物です。駐車場がないので公共機関をご利用ください。TEL022-304-2211

- *当日は実物の鳥の巣を20個、持ってきてくださいます。
- *講演終了後、サイン会を予定しています。
- *対象は大人ですが、興味のある子は小学生でも参加できます。



講師プロフィール

1952年、東京に生まれる。画家、絵本作家、鳥の巣研究家。1986年より伊豆のバサラ山の麓に住む。自宅の近くで偶然、鳥の巣を見つけ、それが鳥の巣との運命的な出会いになる。鳥の巣の造形の美しさに惹かれ、ヒナが巣立った後の古い巣を集め始める。国内だけでなく、海外の鳥の巣についても研究。『鳥の巣の本』(1999)、『世界の鳥の巣の本』(2001)など、鳥の巣の絵本を多数出版。最近出版になった『ニワシドリのひみつをもとめて』はオーストラリアとニューギニア島だけに住むニワシドリの作る「アズマヤ」の謎に迫った興味深い本。その他『せんろはつづく』や『ピン・ポン・パス』シリーズなど、小さい子に人気の絵本も多い。また妻の竹下文子さんとの共作も多く、「黒ねこサンゴロウ」のシリーズで「赤い鳥さし絵賞」を受賞。作品は200冊を超える。

<申し込み方法> 申し込みは12月1日から。定員になり次第締め切ります。

お近くの文庫に申し込んでください。または仙台手をつなぐ文庫の会に申し込んでください。TEL/FAX 022-276-3958 (田澤)